

訴うったえました。

岩子が、これまでに貧しい人々を助けてきたことを知っていた県の役人は、岩子の考かんえに深く感激して、

「東京へ行いつて救養きゆうよう会かい所の仕事をしつかり勉強べんきやうしてきてください。会津の貧しい人々を救すくうために働はたらいてください。」

と、はげましてお金をおくりました。

明治四年（一八七一年）十一月、岩子は上京じやうきやうしました。四十三歳のときです。はるばる遠くとほくの会津から、女の人ひとりで救養会所の仕事を見習みならいに来たという熱意ねつぎに感動かんとくした救養会所の人々は、岩子いわたに救助きゆうじゆの方法や子供の教育について、ていねいに教えてくれました。

岩子は、ことばで教おしえを受けるだけでなく、実際の仕事を身につけたいと、六カ月も救養会所の仕事を手伝てづいました。